

老人福祉施設におけるブラジル人学校生徒による介護実習
(民間 (NPO 等) 主体の交流/その他)

<http://www.gic.or.jp/>

交流団体名

日本側		相手側		
自治体名	交流団体名	国・地域名	自治体名	交流団体名
土岐市	土岐市国際交流協会			ブラジル人学校生徒等在住外国人

交流の概要

施設介護を学ぶことで、利用者、介護スタッフの関係性に着目し人と人とのふれ合いから共感、受容、傾聴へ導く。病気や障害のある高齢者を知りお世話をすることで介護の仕事を理解する。また、レクレーションを通して日本の文化（書道、折紙、茶道）に触れ、互いの文化を認め合いコミュニケーション能力の向上と共生の道を模索する。



【介護実習の様子】



【介護実習の様子】

今後の展望・課題

凡そ100年前にブラジルに渡った日本人は世代が変わり言語が変わり国籍が変わりました。それでも日本人の血統は変わることはありません。現在、日本には日系ブラジル人が約35万人暮らしています。同胞と共に日本の介護福祉の在り方を実践します。

優れた特色

介護施設という福祉現場で入所者と接することで、言語や習慣が異なる高齢者とコミュニケーションを図り、また、日本における高齢化社会の現状を理解することができる。